

信州型自然保育ガイド（仮称）構成について

○信州型自然保育ガイド（仮称）の意義・目的

自然体験等を通して、保育者と子どもたちがどのように関わって、子どもたちがどういったことを学び、どのような成長をしたのかということ具体的事例によって示す。

各事例の内容を、それぞれの保育者が読み取り咀嚼することで、自身の保育現場ではどのようなことができるのか等というようなことを考えるきっかけとして役立てたい。

決して、同じ体験活動の実施を促すものではない。

○信州型自然保育ガイド（仮称）掲載内容

- ・ 導入（信州型自然保育の定義・基本理念）…対談風に？
- ・ 自然保育のフィールドやテーマの全体像提示
- ・ お役立ち情報（保育者・子どもの服装、装備等）…イラストを交えて
- ・ テーマ別事例紹介
- ・ 安全管理やマナーに関すること（危険な生物、注意事項、地域で活動する上でのマナー等）
- ・ 信州型自然保育検討委員会委員からのコメント
- ・ 資料

○事例紹介の提示方法

- ① 自然保育のフィールドやテーマごとに章立てして事例紹介する。具体的には以下のとおり。

章立内容

- 火 … 火に関わる体験
- 水 … 水に関わる体験
- 土 … 土、砂、石等に関わる体験
- 植物 … 木、枝、葉、花、野菜等に関わる体験
- 地域・人・文化 … 地域住民や地域行事に関わる体験
- 空・気候 … 太陽や月、風、気温等に関わる体験
- 生き物 … 昆虫、野生動物に関わる体験

- ② 今後、認定団体が増えていく中で、各団体から提出があった事例を各章の事例部分に付けたしていく。なお、今年度については、作業部会で収集・選定した事例を掲載する。
- ③ 各章の内容に入らない事例が出てきた場合は、その内容についてはコラム的に紹介することとする。